

京都大学総合博物館2026年度特別展  
京都大学化学研究所 創立100周年記念特別展

# 京大 化学 研究所 の 歴史

## 化学研究所100年の物語

2026年10月7日(水)―11月29日(日)

開館時間:9:30―16:30(入館は16:00まで) 休館日:月曜日、火曜日(平日・祝日にかかわらず)

入館料:一般 400円/大学生 300円/小・中・高校生 無料

※20名以上の場合は団体観覧料を適用

※障害者手帳等をお持ちの方とその付き添いの方1名、70歳以上または18歳未満の方、  
京都大学学生・教職員、京都府下の大学在籍の学生は無料(要証明証)

主催:京都大学化学研究所 共催:京都大学総合博物館  
後援:京都府教育委員会、京都市教育委員会、宇治市、宇治市教育委員会

京都大学総合博物館  
THE KYOTO UNIVERSITY MUSEUM



京都大学総合博物館2026年度特別展  
京都大学化学研究所  
創立100周年記念特別展  
京都の化学  
化研の歴史

THE CHEMISTRY IN KYOTO AND THE HISTORY  
OF THE INSTITUTE FOR CHEMICAL RESEARCH

# 化学研究所100年の物語

創立以来100年にわたる化学研究所の歴史と成果をわかりやすく紹介し、化学がもたらした科学技術の進展や社会への貢献について考察します。また、特にこの京都という地において、化学研究所の研究が企業の発祥や発展にどのように寄与してきたのか、その繋がりなども紐解きます。最新の研究成果も紹介しながら、化学研究所の過去・現在・未来を見つめます。



## 創立期・黎明期

FOUNDING AND  
EARLY YEARS



化学研究所の原点は、1915年に京都帝国大学理科大学に設置された化学特別研究所にさかのぼります。1926年に化学研究所官制が公布され、「化学研究所」が正式に誕生しました。社会要請に応える化学研究を主眼として発展し、化学分野における歴史的業績を数多く残してきました。特に日本の石油化学工業の発展に貢献した「人造石油」に関する資料など4件の化学遺産※を公開します。

※化学遺産とは、公益社団法人日本化学会が「世界に誇る我が国の化学関連の文化遺産」として認定したもの

## 拡充期・発展期

EXPANSION AND  
DEVELOPMENT



1949年、化学研究所が京都大学に附置され、「京都大学化学研究所」と呼称されます。日本の高度経済成長期に化学研究所の基礎研究から産業化が進んだ「酸化鉄微粒子」や「結晶化ガラス」などの研究成果を、実例とともに解説展示します。1968年には現在の宇治キャンパスに統合移転し、「超高压電子顕微鏡室」や「DNA実験室」「スーパーコンピューター・ラボラトリー」の設置など、次々に当時の最先端設備が整いました。

## 現在・未来

PRESENT AND  
FUTURE



現在、化学研究所は、「化学」を基軸として、「物理」「生物」「医薬」「情報」といった幅広い分野が連携・融合して新しい研究分野の開拓を目指しています。教職員・学生あわせて約500名が、日々新たな知への挑戦を続けています。その中から未来を拓く最先端の研究や設備、企業との共同研究成果をいくつかご紹介します。

## 京都大学化学研究所創立100周年記念式典

日時: 2026年10月30日(金)

会場: 京都大学百周年時計台記念館

(京都市左京区吉田本町)

お問合せ先

京都大学化学研究所

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

TEL: 0774-38-3328

MAIL: koho@scl.kyoto-u.ac.jp

https://www.kuicr.kyoto-u.ac.jp



京都大学総合博物館

www.museum.kyoto-u.ac.jp

[アクセス]

●京阪電車「出町柳駅」より徒歩約15分

●市バス停留所「百万遍」より徒歩約2分

※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

MAIL: info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp

